

伊藤サンのお気に入り
マイスター S1 3P

4月3日の姿

フェンダーをカットしたの図。ここから下地を作ったうえで、造形していく部分に発泡ウレタンを盛る。ウレタンが固まったらラインを削り出していく作業へと進み、造形が決まったらFRPを表面に貼っていき、固まったら内側のウレタンを取り除くことでパーツが出来上がる。

製作中のフェンダーは普段履きの19インチのマイスター S1 (10.5J OUT21 / 11.0J OUT46) に合わせて造形。まさに王道! と呼ぶべき5本スポークのコンケープがお気に入りとのこと。

ワークさんは
なんといてもサイズが豊富!



ワークホイールとのなれそめは、以前に勤めていたショップ時代からと年季が入っているご様子だが、その魅力を問うてみた。すると、サイズの豊富さ、デザインのキャラ立ち、コストの高さに加え、サポート対応の良さまで褒める「ベタ惚れ」状態(笑)。こんなにワークを愛しているのだから、スタンスネイションのブースにご招待されるのも当たり前だのクラッカー!

4月16日の姿



フロントバンパーから繋がったオーバーフェンダーをサイドステップで一度絞り込む。で、サイドは後方に進むにつれポリウレタンアップしながらリアフェンダーへと繋げる。リアのフェンダーアーチの後側は内巻きに絞り上げ、トレッドを見せつけることでホイールとタイヤの太さをアピールする狙いを察知。ダックテールやフェンダーは純正パネルと一体化させることでシンプルな仕上がりを目論む。

フロントマスクは純正グリルの上側をスムーズに削り出しのみ残す、S30Z・Gノーズ風フルバンパーを新規製作。純正よりも10cmノーズを長くすることで、ロングノーズ・ショートデッキのスタイルをより強調する作戦。ボトムは純正ライクな内巻き形状でフィニッシュ。

SNJ大阪で履くホイールをご紹介!

ワークのホイール史に燦然と輝く「ジースト」。その血統から誕生したのが、バックレーベル・ジーストBSTXだ。絶大な人気を誇ったジーストSTXの魂を受け継ぎ深化を遂げた1本は、フルリバースリムという新しいフォーマットへと最適化すべく、特徴のシャープなY字スポークを継承しつつ緻密な再設計を実行。より伸びやかに進化したスポークが構築するディスクは、ミドルとディープのふたつのコンケープスタイルに派生。ユーザーに選ぶ楽しさと喜びを与えるだろう。

BACK LABEL ZEAST BSTX

バックレーベル・ジーストビーエスティーエックス
サイズ 19、20インチ
価格 10万1750円~
カラー プリリアントシルバーブラック、ブラッシュド
構造 鋳造2ピース

問>>ワーク ☎06-6746-2859/048-688-7555/052-777-4512 <https://work-wheels.co.jp>



「ケイキ職人」の異名をとるワイドボディの名手が手がけるRZ34とバックレーベル・ジーストBSTXの1日限りの化学反応を生で拝みたいなら、5月24日はスタンスネイション大阪のワークブースに行くっきゃない!!

発泡ウレタンとファイバーを操り、時に過激に、時にさりげなく。唯一無二のワイドボディを生み出す「A.BASE」。過去のスタンスネイションジャパンでも手がけた車両が幾度もアワードを獲得するなど、スタンスシーンにおける要注目シヨップだ。デザインから造形までひとりでも伊藤代表の愛機といえは本誌でもフィーチャーしたZ33フェアレディZが記憶に新しいが、現在RZ34フェアレディZのモディファイ真っ只中だ

「ロングノーズ、ショートデッキのスポーツカーらしいスタイルが気に入っていて、ナチュラルな感じでワイドボディに仕上げたら絶対カッコよくなる自信があります。ワークスとかプリスターではなく、純正のラインをそのまま広げる感じのワイドボディが今回のポイントですね。ただ、ノーマルのバンパーデザインには魅力を感じなかったもので、自分好みに作り変えますね。逆にリアバンパーは気に入っているので基本そのまま。あとはダックテールも作る予定です。」

伊藤代表の歴代車はワークのホイールを履かせていることが多く、RZ34もマイスターS1 3ピースをチョイス。スペインションはエアフォースのスーパーパフォーマンスキットをセットし、ライドハイトでツライチ。エアゼロでタイヤシヨルダーにフェンダーが被るイメージで最終的な造形をしていくそうだ。

現在も所有するZ33。ストリートGTマシンをテーマに掲げ、GT300マシンを参考にしたシルエットを完成させる。こちらの車両にもマイスターS1 3Pを履かすあたり、よほどワーク好きと見た!!



NOW ON MAKING!!

WORK

A.BASE RZ34 FAIRLADY Z

●協力 / A.BASE ☎0533-88-6900 ashiru_ito
PHOTO / 芝修(オマドーン)

Stancenation JAPAN
Supported by WORK
2026 OSAKA

直前特別企画

スタンスネイションジャパン2026大阪が5月24日に迫る中、ワークブースで初お披露目となる愛知・エーベースが製作中のフェアレディZをスクープ! 完成形はイベント会場にてご覧いただくとして、製作におけるこだわりなどを聞いてみた。

A.BASE
伊藤あしる代表
オーナーの求めるイメージに合わせて唯一無二のフェンダーを作り出すボディショップ。ホイールサイズから逆算したフェンダーメイクから、理想のデザインに合わせたホイールセレクトのアドバイスもしてくれるぞ。ワンオフのイメージが強いが、既製パーツの加工だって大得意である。